

CLIPPEDIMAGE= JP405137473A

PAT-NO: JP405137473A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05137473 A

TITLE: METHOD FOR WATER CULTURE USING BOTTOMLESS CONTAINER AND
VEGETABLE FIBER

PUBN-DATE: June 1, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MAEDA, FUMIKAZU

SUZUKI, KUNIO

AKIYAMA, KEIJIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

FUJIMI GREEN ENG KK

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP03354164

APPL-DATE: November 18, 1991

INT-CL (IPC): A01G031/00; A01G009/02

US-CL-CURRENT: 47/62R

ABSTRACT:

PURPOSE: To efficiently carry out water culture by planting a seedling of an aquatic plant in vegetable fiber in a bottomless container, dipping the seedling in a stored culture solution, growing roots and integrating the roots with the vegetable fiber.

CONSTITUTION: A seedling of an aquatic plant 3 such as *Phragmites communis*

Trinius, *Scirpus lacustris* L. var. *tabernaemontani* Trautv. or *Acorus calamus*

L. var. *asiaticus* Pers. is planted in vegetable fiber 2, packed in a

bottomless container 1 so as to fill the container 1 and obtained from a

coconut shell, etc. The bottomless container 1 and the vegetable fiber 2 are

then dipped in stored culture water 4. Thereby, roots 5 of the aquatic plant 3

are sufficiently grown and integrated with the vegetable fiber 2 into a

reticular form. As a result, water culture is carried out.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-137473

(43)公開日 平成5年(1993)6月1日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 0 1 G 31/00	Z	8808-2B		
9/02	A	7110-2B		
31/00	J	8808-2B		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-354164

(22)出願日 平成3年(1991)11月18日

(71)出願人 592015422

富士見グリーンエンジニアリング株式会社
静岡県静岡市富士見台1丁目19番72号

(72)発明者 前田 文和

愛知県江南市大字宮後字日の出9番地の2

(72)発明者 鈴木 邦雄

神奈川県横浜市保土ヶ谷区峰岡町1-94-18

(72)発明者 秋山 恵二郎

静岡県静岡市富士見台1-19-47

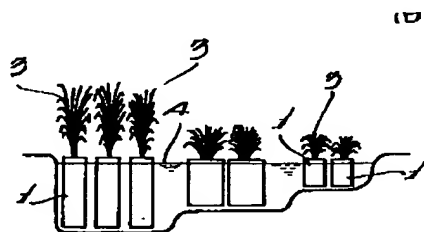
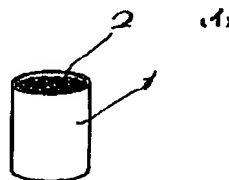
(74)代理人 弁理士 橋山 獅一

(54)【発明の名称】 底なし容器と植物繊維とを使用した水耕栽培方法

(57)【要約】

【目的】 水生植物の根の発育が良好に行われ、そして、生長した水生植物を植栽地へ運搬する際に、これを容易に行うことができ、運搬コストの低減に資する水耕栽培方法を提供する。

【構成】 底なし容器1に充填するように詰め込んだ植物繊維2に水生植物3の苗を植え込み、該底なし容器1及び植物繊維2を蓄留培養水4に浸漬しておくことにより、水生植物3の根5を十分に発育させて植物繊維2と網状に一体化させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 底なし容器に充滿するように詰め込んだ植物繊維に水生植物の苗を植え込み、該底なし容器及び植物繊維を蓄留培養水に浸漬しておくことにより、水生植物の根を十分に発育させて植物繊維と網状に一体化させることを特徴とする、底なし容器と植物繊維とを使用した水耕栽培方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、底なし容器とヤシの実の皮等から得られる植物繊維とを使用し、ヨシ、フトイ、ガマ及びショウブ等の水生植物を栽培する、底なし容器と植物繊維とを使用した水耕栽培方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、容器に収容した土壌等に水生植物の苗を植え付けて栽培していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、斯かる栽培方法によるときは、容器に収容した土壌が流出し易く、また該土壌中の病原菌により根の発育が抑制されたり、更には取扱いが容易に行われないため植栽地への運搬コストが嵩む等の問題があった。

【0004】本発明は、上記諸問題を解決し、水生植物の根の発育が良好に行われ、そして生長した水生植物を植栽地へ運搬する際に、これを容易に行うことができる水耕栽培方法を提供しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するため、底なし容器1に充滿するように詰め込んだ植物繊維2に水生植物3の苗を植え込み、該底なし容器1及び植物繊維2を蓄留培養水4に浸漬しておくことにより、水生植物3の根5を十分に発育させて植物繊維2と網状に一体化させるものである。

【0006】

【作用】本発明に係る方法により水生植物3の根5を十分に発育させて植物繊維2と網状に一体化させれば、該水生植物3を植栽地へ運搬する際に、上記一体化した水

生植物3の根5と植物繊維2とを図1（ハ）に示すように底なし容器1から抜き出し、これを少し乾燥させて軽量にしてから運搬することも可能となる。

【0007】

【実施例】本発明の実施例を図面に従って説明すれば下記の通りである。

【0008】先ず、栽培しようとする水生植物の種類に応じて適切な大きさ・深さの底なし容器1を選択し、図1（イ）に示すようにその底なし容器1に、ヤシの実の皮から得られる植物繊維2を充滿するように詰め込む。次に、図1（ロ）に示すように該植物繊維2に、ヨシ、フトイ、ガマ及びショウブ等の水生植物3の苗を植え込んだ後、底なし容器1及び植物繊維2を、任意手段により蓄留した蓄留培養水4に浸漬しておくことにより、水生植物3の根5を十分に発育させて植物繊維2と網状に一体化させる。

【0009】

【発明の効果】本発明は上記のように、水生植物の根を十分に発育させて底なし容器に詰め込んだ植物繊維と網状に一体化させるものであるから、該水生植物を植栽地へ運搬する際に、上記一体化した水生植物の根と植物繊維とを底なし容器から抜き出し、これを少し乾燥させて軽量にしてから運搬することが可能となるから、運搬作業が容易に行われ、運搬コストの低減に資するものである。

【0010】また、土壌を使用しないので、病原菌により根の発育が抑制される虞れがなく健全に十分に生長し、植物繊維と網状に一体化するから、植栽地に植え込んだ場合に活着率が非常に高い等の大きな効果を発揮するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施状態を示す説明図である。

【符号の説明】

- 1 底なし容器
- 2 植物繊維
- 3 水生植物
- 4 蓄留培養水
- 5 根

【図1】

